

## 日本手話の使役表現に対する認知言語学的アプローチ

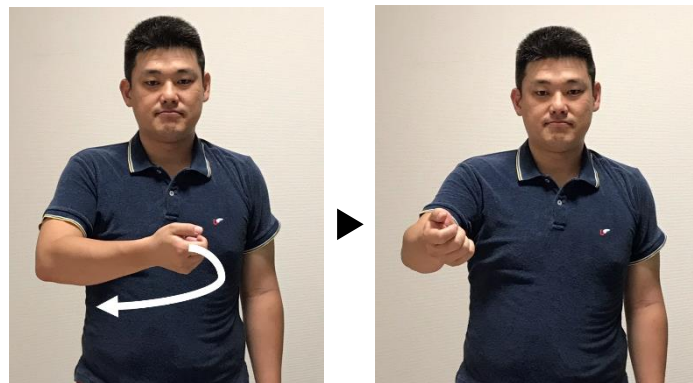
—捉え方、細密度、好まれる言い回し—

松田俊介 (東京大学(院))

本発表は、日本手話<sup>1</sup>の使役表現を認知言語学の立場から分析する。具体的には、認知言語学の道具立てである「捉え方」と「細密度」(Langacker 2008: 43)、さらに近年認知言語学で注目されている「好まれる言い回し」(西村・長谷川 2016)を分析に用いることで、日本手話の使役表現に対して自然な説明(ないしは解釈)を与える。

使役とは「動作主が何らかの働きかけを《スル》ことによって、対象が何らかの状態に《ナル》」という事態を表すものである。例えば、次の日本手話(1)は〈ドアを押し開ける〉を表しているが、これは動作主が押すという働きかけを《スル》ことによってドアが開いている状態に《ナル》事態を表す使役表現である。

(1)



(1)は〈ドアを押し開ける〉だけでなく〈ドアを開ける〉を表すこともできる。つまり、《スル》が指定された形式(1)で《スル》が指定された意味と《スル》が指定されていない意味の両方を表せる。

	《スル》を指定	《スル》を無指定
日本語	ドアを押し開ける	ドアを開ける
日本手話	(1)	(1)

このような現象は日本手話に多く見られる。例えば、(2)～(4)はいずれも《スル》(殺し方、乾かし方、倒し方)が指定された形式であるが、(1)同様に《スル》が指定された意味と《スル》が指定されていない意味の両方を表せる<sup>2</sup>。

<sup>1</sup> 日本手話の容認性判断は、愛知県出身 30代女性の母語話者に行ってもらった。また M.H.氏には写真掲載の許可をいただいた。

<sup>2</sup> 手話単語は/ /で示す。

(2) /刺す/ /死ぬ/

「刺し殺す」 or 「殺す」



(3) /木/ /切る/ /倒れる/

「木を切り倒す」 or 「木を倒す」

(4) /服/ /掛ける/ /乾く/

「服を掛けて乾かす」 or 「服を乾かす」

日本手話では使役的事態に細密度の高い捉え方を適用することが慣習化している。そのため《スル》を不問にしたい場合であっても《スル》を表現しなければならず、上のような現象が生まれる。同様の現象は中国語にもみられる<sup>3</sup>。

(5) 他 砍倒 樹

彼 切る-倒れる 木

「彼は木を切り倒す」 or 「彼は木を倒す」

日本手話と中国語では使役的事態の報告の仕方、すなわち好まれる言い回しが共通している。個別言語の表現形式である好まれる言い回しが、**音声言語か手話かという違いを超えて**共通しているという事実は興味深い。

## 参考文献

Langacker, Ronald (2008) *Cognitive grammar: A basic introduction*. New York: Oxford University Press.

西村義樹・長谷川明香 (2016) 「語彙、文法、好まれる言い回し—認知文法の視点—」 藤田耕司・西村義樹 (編) 『日英対照 文法と語彙への統合的アプローチ—生成文法・認知言語学と日本語学—』: 282-307. 東京: 開拓社.

<sup>3</sup> 中国語の容認性判断は、安徽省合肥市出身 20 代女性の母語話者に行ってもらった。